

研究報告書（分担者）

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
（総括（分担））研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究分担者 吉田 晴郎 長崎大学 医歯薬学総合研究科 准教授

研究要旨

聴覚活用療育法、サイトメガロウイルス感染症への療育法について調査し、これらに関する指針をまとめ、ガイドラインに掲載する原稿を作成した。

A. 研究目的

聴覚活用療育法、サイトメガロウイルス感染症に対する療育法の有効性、療育を行う際の注意点などについてガイドラインを作成する。

B. 研究方法

上記に関する多数の文献を調査し、それらを要約した上でエビデンスレベルを評価する。その内容を医療従事者以外にも分かりやすい表現でまとめる。

（倫理面への配慮）

文献調査が主で倫理的問題は発生し難い

C. 研究結果

聴覚活用療育法は人工内耳術後の療育として有効性が示された。強いエビデンスレベルに支えられている訳ではないため、さらに大規模な研究結果が待たれる。

サイトメガロウイルス感染症に対する人工内耳は、その有効性が示されたが、重複障害がある症例では効果が劣る。

D. 考察

聴覚活用療育法は、難聴者への療育法として有効である。ただし、過去の研究では評価方法や対象が多様であるため、今後は強いエビデンスが得られる研究が必要である。

サイトメガロウイルス感染症に対する診療では、重複障害を伴う症例では難聴の評価だけでも困難な症例もあり、患者の様子をみながら効果判定をすることが重要。

E. 結論

聴覚活用療育法は小児難聴に対する療育法として勧められるものであり、サイトメガロウイルス感染症に対しては個々の症例に応じた療育を慎重に行うことが必要。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

【耳鼻咽喉科診療 Q&A】耳科領域 乳幼児の遷延する滲出性中耳炎で鼓膜所見は改善してもティンパノグラムの所見が改善しない場合、どのように管理すべきですか? 吉田 晴郎 JOHNS 36(9) 1068-9, 2020.

2. 学会発表

第15回日本小児耳鼻咽喉科学会. 長崎大学病院での先天性サイトメガロウイルス感染症児について. 北岡 杏子, 吉田 晴郎, 他 (2020. 11) .

第30回日本耳科学会. 長崎大学病院における新生児聴覚スクリーニング検査の5年間の検討. 小路永 聡美, 吉田 晴郎, 他 (2020.5)

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし